

(施策 7) 中長期的な視点を重視した介護サービス基盤の整備
介護サービス基盤整備に係る整備目標設定の考え方について

1 現行計画（令和 6 年度～令和 8 年度）における整備目標の算出方法について（振り返り）

(1) 特別養護老人ホーム

① 「実入所申込者数」の算出（令和 5 年度入所希望者調査より）

入所申込者数 1,210人	
実入所申込者数 1,146人	特例入所要件非該当の 要介護1・2の方 64人
※ 1, 210 人のうち、入所要件（要介護 3～5 又は特例入所要件該当の要介護 1・2）を満たす方	

② 「早期入所希望者数」の推計（令和 5 年度特別養護老人ホーム入所希望者向け調査より）

特養のみを希望 598人	
早期入所希望者数 （早期の入所を希望） 204人	将来的に入所を希望 394人
	特養以外も希望 （他施設でも可） 548人

③ 「入所必要者数（令和 5 年度）」の推計（②＋現入所者数）

早期入所希望者数 204人	現入所者数 4,877人
入所必要者数（令和 5 年度） 5,081人	

④ 「入所必要者数（令和 8 年度）」の推計（③＋高齢者人口増に伴う増分）

入所必要者数（令和 5 年度） 5,081人	高齢者人口増に伴う増分 426人
入所必要者数（令和 8 年度） 5,507人	

⑤ 「総定員数（令和 8 年度）」の算出（現定員数＋第 8 期整備予定分）

現定員数 5,459人	第 8 期整備予定分 129人
総定員数（令和 8 年度） 5,588人	

⑥ 「実入所者数（令和 8 年度）」の推計（⑤×稼働率）

総定員数（令和 8 年度） 5,588人（⑤）
実入所者数（令和 8 年度） 5,297人（⑤×稼働率 94.8%）

⑦ 「想定不足数（令和 8 年度）」の算出（④－⑥）

入所必要者数（令和 8 年度） 5,507人（④）
実入所者数（令和 8 年度） 5,297人（⑥）
想定不足数（令和 8 年度） 210人分

※ 想定不足数（令和 8 年度）210 人分に稼働率（94.8%）を割り戻した数 ÷ 222 人分
÷ 230 人分を整備量の目標とする。

(2) 介護老人保健施設

①「入所申込者数」の算出（令和5年度入所希望者調査より）

入所申込者数 117人

②「入所必要者数（令和5年度）」の推計（①+現入所者数）

入所申込者数 117人	現入所者数 3,086人
入所必要者数（令和5年度） 3,203人	

③「入所必要者数（令和8年度）」の推計（②+高齢者人口増に伴う増分）

入所必要者数（令和5年度） 3,203人	高齢者人口増に伴う 増分 263人
入所必要者数（令和8年度） 3,466人	

④「総定員数（令和8年度）」の算出（現定員数+第8期整備予定分）

現定員数 3,488人	第8期整備予定分 180人
総定員数（令和8年度） 3,668人	

⑤「実入所者数（令和8年度）」の推計（④×稼働率）

総定員数（令和8年度） 3,668人（④）
実入所者数（令和8年度） 3,462人（④×稼働率94.4%）

⑥「想定不足数（令和8年度）」の算出（③-⑤）

入所必要者数（令和8年度） 3,466人（③）
実入所者数（令和8年度） 3,462人（⑤）
※想定不足数 4人

※令和8年度想定不足数4床に稼働率（94.4%）を割り戻した数÷4床
4床÷4人分の不足となるが、現在の待機期間や利用状況を踏まえ、
第9期においては整備を行わない。

(3) 認知症対応型共同生活介護

①「入所申込者数」の推計（令和5年度GH事業者調査より）

入所希望者 108人

②「入所必要者数（令和5年度）」の推計（①+現入所者数）

入所希望者 108人	現入所者数 2,076人
入所必要者数（令和5年度） 2,184人	

③「入所必要者数（令和8年度）」の推計（②+高齢者人口増に伴う増分）

入所必要者数（令和5年度） 2,184人	高齢者人口増に伴う増分 176人
入所必要者数（令和8年度） 2,360人	

④「総定員数（令和8年度）」の算出（現定員数+第8期整備予定分）

現定員数 2,204人	90人
総定員数（令和8年度） 2,294人	

第8期残整備予定分

⑤「実入所者数（令和8年度）」の推計（④×稼働率）

総定員数（令和8年度） 2,294人（④）
実入所者数（令和8年度） 2,211人（④×稼働率96.4%）

⑥「想定不足数（令和8年度）」の算出（③-⑤）

入所必要者数（令和8年度） 2,360人（③）
実入所者数（令和8年度） 2,211人（⑤）

※想定不足数
149人

※令和8年度想定不足数149床に稼働率（96.4%）を割り戻した数＝155床
155床÷162床＝162人分を整備量の目標とする。

（※1ユニット9床単位想定で切り上げ）

(4) 特定施設入居者生活介護

(令和5年度特別養護老人ホーム入所希望者向け調査より)

①特別養護老人ホームの入所希望者のうち有料老人ホーム等の他施設に入所しても良いと考えている人数

125人

②「現状の生活場所（自宅など）」が良いと考えている人数

※可能な限り現状の生活場所を望んでいるが、特養申込をしていることから、状況に応じ施設入所を検討。

84人

③特別養護老人ホームの特例入所要件非該当の要介護1・2の方の人数

64人

特別養護老人ホームの入所希望者のうち「他施設でも良い」：548人の内訳

早く入所したいが他施設も可 130人

老健：51人、GH：26人、

①有料：14人、②他施設：26人

③現状の生活場所：13人

将来の入居意向 246人

老健：133人、GH：38人、

①有料：20人、②他施設：14人

③現状の生活場所：41人

希望時期不明 172人

老健：68人、GH：23人、

①有料：14人、②他施設：37人

③現状の生活場所：30人

○特定施設入居者生活介護の整備目標数

高齢者人口増に伴う増分
19人

125人

②84人

③64人

=292人

※292人÷300人を整備の目標数とする。

(5) 小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護

日常生活圏域で未整備となっている状況を踏まえ整備量を算出。

2 現行計画（令和6年度～令和8年度）における介護サービス基盤整備の進捗状況

サービス種別	整備目標	現在までの選定数	令和8年度の公募等
特別養護老人ホーム	230人分	67人分	募集中
介護老人保健施設	—	—	—
認知症対応型共同生活介護	162人分	37人分	募集中
特定施設入居者生活介護	300人分	228人分	選定手続き中
小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護	11事業所	7事業所	募集中

3 次期計画（令和9年度～令和11年度）における整備目標設定の考え方について

次期計画における整備目標の設定については、現行計画の考え方を基本としつつ、高齢者人口の中長期的な動向に見据えながら、介護が必要な高齢者が適切な介護サービスを受けられるよう、本市が実施する以下の各種調査の結果等を検証のうえ、以下の観点等を考慮しながら、整備目標を設定する。

【本市が実施する各種調査】

- 特別養護老人ホーム入所希望者調査（参考資料1参照）
- 介護老人保健施設入所希望者調査
- 仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための実態調査
 - ・特別養護老人ホーム入所希望者向け調査
 - ・施設及び事業所向け調査（特養・老健・GH・小多機・看多機・有料・養護・軽費・定巡）
 - ・市内施設運営法人向け調査（特養・老健・GH・有料・養護・軽費）

【整備目標設定に当たって考慮する観点】

- ・特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設の待機者数の状況
- ・建設費高騰等による介護老人保健施設の整備計画辞退の影響及び介護医療院の整備の必要性
- ・住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の増加等による選択肢の多様化
- ・有料老人ホーム等への入居状況及び利用実態を踏まえた介護サービス需要の見込み
- ・市内施設等における稼働率の状況、今後の運営方針や整備意向、介護人材確保の状況等